

●小型電気ストライク3106シリーズ

品番及び機能:

- 3106(注1)-(注2) 通電時解錠型-----通電している間解錠します
- 3116(注1)-(注2) 瞬時通電施解錠繰返型----瞬間的に電気ストライクへ電気を流すと、その都度交互に施解錠を繰返します(注3)
- 3126(注1)-(注2) 通電時施錠型-----通電している間施錠します

注1: R/L

注2: 20/23

品番例 3106R-23

注3: 停電等で電気が供給されない場合、停電前の状態を保持します。但し、電気錠制御盤の仕様により動作状態(動作条件)が異なりますので、制御盤の仕様をご検討の上、ご使用下さい。

対応錠:

- シリンダー彫込自動錠ノブ型
1050-70/1051-70/1053-70
- シリンダー彫込自動錠レバー型
1061-45
- シリンダー彫込自動本締錠
1062-45

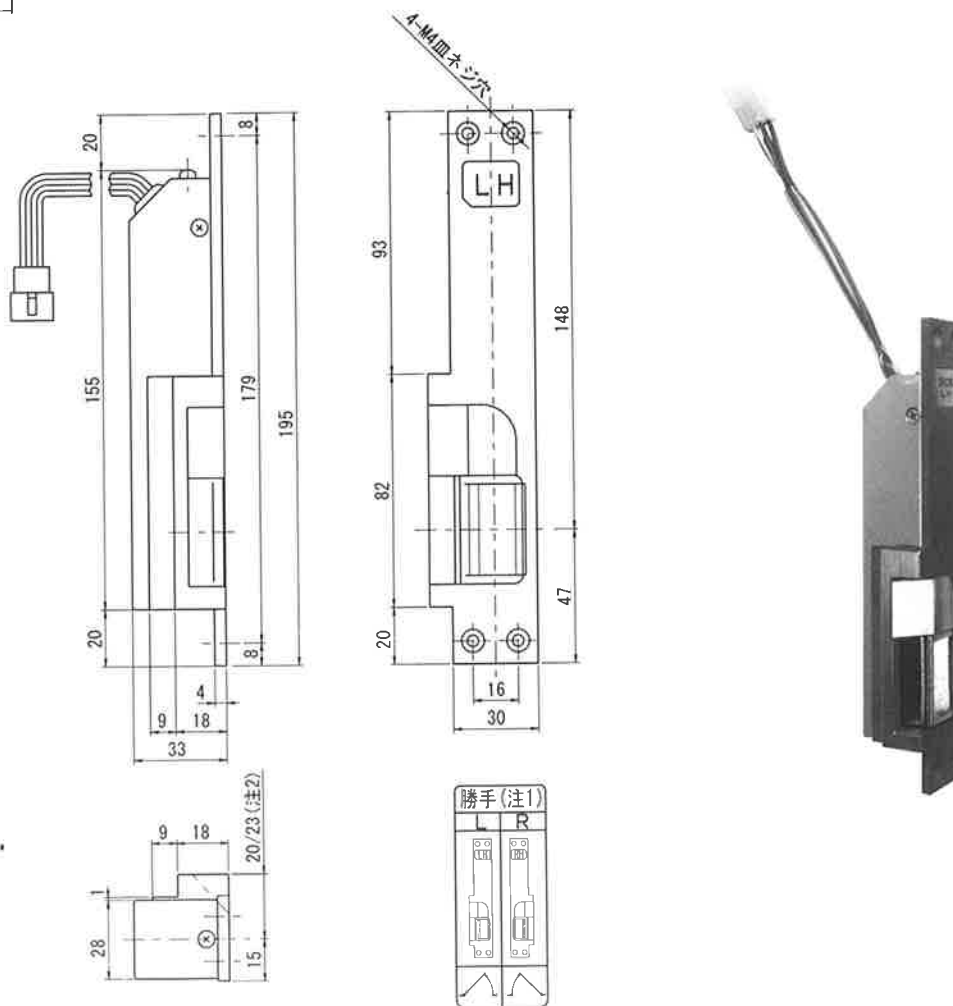
扉対応:

建具との収まりに応じ、2種類の寸法から選択可能(注2)
(本図集P.57電気錠補足資料「2.電気ストライクと自動錠の収まり例」をご参照下さい)

用途:

入退室扉/非常口

主要寸法:



■電気仕様■

	通電時解錠型 3106	瞬時通電施錠線返型 3116	通電時施錠型 3126
内部回路図	<p>モレックス 付属コード コネクター 1 赤 2 黒 3 黄 4 緑 5 茶 6 青 7 橙 8 灰 9 白</p> <p>図はS1解錠、S2開扉の状態を表す</p>	<p>モレックス 付属コード コネクター 1 赤 2 黒 3 黄 4 緑 5 茶 6 青 7 橙 8 灰 9 白</p> <p>図はS1施錠、S2開扉の状態を表す</p>	<p>モレックス 付属コード コネクター 1 赤 2 黒 3 黄 4 緑 5 茶 6 青 7 橙 8 灰 9 白</p> <p>図はS1解錠、S2開扉の状態を表す</p>
SOL ソレノイド	<ul style="list-style-type: none"> ■定格電圧／電流 DC24V/0.2A 無極性 ■使用電圧範囲 20～26VDC 連続通電可 ■動作 解錠=通電時 施錠=非通電時 	<ul style="list-style-type: none"> ■定格電圧／電流 DC24V/0.45A 有極性 ■通電許容時間 0.2～5秒 ■使用電圧範囲 20～26V DC ■動作 解錠 = 赤+／黒- 施錠 = 黄+／黒- または 解錠 = 赤+／黄- 施錠 = 黄+／赤- 	<ul style="list-style-type: none"> ■定格電圧／電流 DC24V/0.2A 無極性 ■使用電圧範囲 20～26V DC、連続通電可 ■動作 解錠=非通電時 施錠=通電時
S1 施錠確認スイッチ	<ul style="list-style-type: none"> ■施錠ON ●ラッチフックが固定されているとき ■解錠ON ●ラッチフックが可動状態のとき ●ラッチフックが施錠位置まで戻っていないとき 	<ul style="list-style-type: none"> ■施錠ON ●ラッチフックが固定されているとき ■解錠ON ●ラッチフックが可動状態のとき 	<ul style="list-style-type: none"> ■施錠ON ●ラッチフックが固定されているとき ■解錠ON ●ラッチフックが可動状態のとき ●ラッチフックが施錠位置まで戻っていないとき
S2 扉開確認スイッチ	<ul style="list-style-type: none"> ■閉扉時ON 扉が閉まっているとき、錠のラッチマグネットにより動作 		
S1/2定格	3～100mA/5～30V DC		
付属コード	モレックスリセプタクル 1625-09R UL 1007 AWG 22 長さ 20 cm		
お願い	<ol style="list-style-type: none"> 戸隙(錠とストライクの間)は錠機能/防犯上6mm以下に収めてください。 開扉方向に側圧がある際には、施錠できない場合があります。 閉扉時、ラッチがストライクに競って収まっている際には、施錠確認スイッチが誤動作する場合があります。 召し合わせ付目板一体型扉等偏芯させて取付ける場合は、必ず正しい形状の電気ストライクを使用してください。その際、自動錠の振れ止めが有効になるように、振れ止め台座を扉内に設けてください。(電気錠・警報錠図集 電気錠 補足資料「収まり例」をご参照ください) 通電金具使用時は誤接続にご注意ください。 使用しない線は絶縁処理してください。 		

■ 3103/3113/3123は、2007年をもって生産終了となりました。

■ 外形寸法は3103/3113/3123と同じですが、内部回路のS2扉開確認スイッチがマイクロスイッチからリードスイッチ(閉扉時ON)に変わります。

